



2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月12日

上場会社名 株式会社エーアイティー 上場取引所 東
 コード番号 9381 URL http://www.ait-jp.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)矢倉 英一
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経理財務部長 (氏名)内田 利明 (TEL) 06(6260)3450
 四半期報告書提出予定日 2021年10月15日 配当支払開始予定日 2021年10月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	26,971	25.0	1,533	73.5	1,673	59.2	974	36.1
2021年2月期第2四半期	21,581	△3.9	883	19.2	1,051	13.4	716	11.3

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 1,283百万円 (101.8%) 2021年2月期第2四半期 636百万円 (19.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	41.48	—
2021年2月期第2四半期	30.23	—

(注) 当社は、2020年7月13日開催の取締役会決議に基づき、2020年11月6日までの間に自己株式199,800株を取得しました。これらにより、2022年2月期第2四半期の1株当たり四半期純利益については、期中平均株式数23,493,668株にて算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	21,996	13,011	58.3
2021年2月期	21,630	12,231	55.6

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 12,828百万円 2021年2月期 12,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		18.00		20.00	38.00
2022年2月期		22.00			
2022年2月期(予想)				22.00	44.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年2月期の期末配当金の内訳 普通配当18円00銭 創業25周年記念配当2円00銭

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	15.7	2,830	22.8	3,050	19.8	2,040	17.8	86.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 1 社(社名) AIT International of America, Inc.

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期2Q	23,913,600株	2021年2月期	23,913,600株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	419,975株	2021年2月期	419,912株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期2Q	23,493,668株	2021年2月期2Q	23,685,574株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当第2四半期において、アナリスト・機関投資家向けの決算説明会は開催いたしません。決算補足説明資料については、当第2四半期決算短信開示後に、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載していましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、社会経済活動が大きく制限されるなど厳しい状況が続いており、先行き不透明な状況となっております。当社グループを取り巻く事業環境としても、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、物流そのものへの大きな影響はないものの、長引く外出自粛により、個人消費も一段と厳しさを増すことが懸念され、予断を許さない状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは、新規顧客の開拓と既存顧客との取引深耕を推進し、主に中国や東南アジアから日本への輸入海上輸送の貨物集荷に注力してまいりました。さらに、通関や配送、検品・検針・加工業務といった輸出入の付帯業務の更なる受注獲得を目指し、精力的な営業活動を展開してまいりました。当第2四半期連結累計期間では、前年同期に比べてアパレル関連製品の取扱いは僅かながら回復基調にありましたが、外出自粛の影響から消費の低迷は続いております。一方で、巣ごもり消費の拡大から生活雑貨や家電製品等の取扱いは伸びており、堅調さを維持しております。

これらに加え、当社グループの主力ビジネスである海上貨物輸送では、昨秋以降、海上コンテナの不足等により、当社グループで取扱う海上輸送の一部航路でも海上運賃が高騰し、今も高い運賃水準となっております。この状況下、当社グループでは、取引先への安定した国際輸送サービスの提供に努めてまいりました。この運賃水準の上昇は、当第2四半期連結累計期間での業績拡大、収益向上の追い風ともなりました。

また、販売費及び一般管理費では、継続して見直しや削減を図ることで、利益の創出を図ってまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は26,971百万円（前年同期比25.0%増）と前年同期を大きく上回りました。また、営業収益が好調に推移したことにより、営業利益は1,533百万円（前年同期比73.5%増）、経常利益は1,673百万円（前年同期比59.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は974百万円（前年同期比36.1%増）といずれも前年同期を大幅に上回ることとなりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

なお、報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」では、第1四半期連結会計期間において、米国の現地法人「AIT International of America, Inc.」が清算終了したため、連結の範囲から除外しております。また、報告セグメントの「中国」では、「暖新国際貿易（上海）有限公司」が現在、解散及び清算に向けての準備を進めております。

①日本

当第2四半期連結累計期間では、度重なる緊急事態宣言の発出等により、個人消費や経済活動が大きな影響を受け、景気の減速感も強まりを見せております。このような厳しい環境下でありましたが、巣ごもり消費が一段と拡大する中、一貫輸送の受注を増加させるべく営業活動に邁進してまいりました。

その結果、海上輸送の取扱コンテナ本数は、輸入で133,385TEU（前年同期比3.1%増）、輸出入合計では140,149TEU（前年同期比3.2%増）と前年同期を上回りました。通関受注件数においても、子会社での受注が回復傾向にあり、72,420件（前年同期比6.3%増）と前年同期を上回る推移となりました。また、顧客へのサービスの向上及び自らの業務効率化によりコストを圧縮させるべく、DXへの取り組みにも注力してまいりました。これらに加え、海上コンテナの不足により、当社グループの取扱う一部の航路でも海上運賃が高騰し、営業収益、売上総利益をさらに押し上げる大きな要因となりました。

以上のことから、日本における営業収益は22,435百万円（前年同期比30.3%増）と前年同期を上回り、セグメント利益は、売上総利益が大幅に増加したことに加え、人件費や営業活動における費用の抑制に努めたこと等で1,310百万円（前年同期比118.3%増）となりました。

②中国

アパレル関連の取扱いが低調な推移であることから、検品・検針等の付帯業務の受注は厳しい環境が続いております。しかしながら、当第2四半期連結累計期間では、コロナ禍の環境下ではありますが、物流も正常に行われており、前年同期と比較して日本向け貨物の取扱量も回復し、中国国内での輸送関連の収益機会も増すこととなりました。

この結果、中国における営業収益は4,061百万円（前年同期比10.6%増）と前年同期を上回りました。一方でセグメント利益は、前第2四半期連結累計期間であった法定福利費の減免が無くなったこと等で費用が嵩んだ結果、212百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

③その他

台湾子会社においては、貨物の取扱量及び収益は安定的に確保出来たものの、ベトナム子会社では、新型コロナウイルスの感染急拡大の影響から収益が低下することとなりました。また、ミャンマー子会社でも、新型コロナウイルス感染症や政情不安等の影響から収益が低下し、加えて米国子会社の清算もあって、営業収益は474百万円（前年同期比31.6%減）となり、セグメント利益は10百万円（前年同期比67.1%減）となりました

（注）TEU（Twenty-foot Equivalent Unit、20フィートコンテナ換算）とは、海上コンテナの数量を表す単位で、20フィートコンテナ1個分を1TEUと計算します。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結累計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ365百万円増加し21,996百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ803百万円増加し17,656百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が328百万円、立替金が277百万円、現金及び預金が154百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ437百万円減少し4,339百万円となりました。これは主に、顧客関連資産が131百万円、投資有価証券が85百万円、のれんが54百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結累計期間における負債総額は、前連結会計年度末に比べ414百万円減少し8,984百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3,073百万円減少し4,690百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が3,700百万円減少した一方で、買掛金が778百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2,659百万円増加し4,294百万円となりました。これは主に、長期借入金が2,700百万円増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ779百万円増加し13,011百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益974百万円を計上した一方で、剰余金の配当により469百万円が減少したことによるものであります。また、為替換算調整勘定が299百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ447百万円増加し、10,499百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内訳は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は1,500百万円（前年同期比1,068百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を1,599百万円計上したことのほか、仕入債務の増加740百万円、減価償却費293百万円、利息及び配当金の受取額127百万円、のれん償却額54百万円、貸倒引当金の増加35百万円等の資金の増加要因に対し、法人税等の支払額600百万円、売上債権の増加313百万円、立替金の増加277百万円、持分法による投資利益89百万円、預り金の減少79百万円等の資金の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は340百万円（前年同期は169百万円の支出）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入1,176百万円等の資金の増加要因に対し、定期預金の預入による支出833百万円等の資金の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は1,568百万円（前年同期比375百万円増）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出3,700百万円、配当金の支払469百万円等の資金の減少要因に対し、長期借入れによる収入2,700百万円の資金の増加要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、2021年7月13日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて上方修正しました第2四半期の連結予想数値と比較し、営業収益並びに営業利益以下の段階利益で予想を上回る推移となっております。なお、当第2四半期連結累計期間において、特別損失として計上しております事業構造改革費用は、当社連結子会社である日一新国際物流(上海)有限公司の事業所閉鎖に伴う経済補償金等ではありますが、2021年7月13日付で公表しました修正後の連結業績予想では、下半期にその発生を見込んでおり、通期の連結予想数値には織り込み済みであります。

当社グループは、下半期においても、既存顧客の深堀はもとより多数の新たな顧客の獲得を推進してまいります。

また、第3四半期連結会計期間では、秋冬物のアパレル製品や年末年始商戦に向けての製品の荷動きが活発になることから、収益の比重も高くなります。現在の国際貨物輸送における海上運賃の推移は、コンテナの不足等により高い水準が続いており、当社グループの取扱う航路の一部でも運賃水準は高い状態となっております。一方で、新型コロナウイルスの収束が未だ見通せない中で運賃市況も刻々と変化しており、その動向は不透明な状況にあります。

よって、現在のところ、2021年7月13日に公表いたしました通期の連結業績予想を据え置いております。今後、通期の連結業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,653	10,808
受取手形及び売掛金	4,507	4,836
立替金	1,375	1,653
その他	358	404
貸倒引当金	△41	△44
流動資産合計	16,853	17,656
固定資産		
有形固定資産	774	679
無形固定資産		
のれん	870	816
顧客関連資産	2,105	1,974
その他	188	158
無形固定資産合計	3,164	2,948
投資その他の資産		
投資有価証券	460	374
差入保証金	244	244
その他	134	125
貸倒引当金	△0	△33
投資その他の資産合計	838	711
固定資産合計	4,777	4,339
資産合計	21,630	21,996
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,247	3,026
1年内返済予定の長期借入金	3,700	-
未払法人税等	580	563
賞与引当金	389	383
役員賞与引当金	35	14
その他	811	702
流動負債合計	7,764	4,690
固定負債		
長期借入金	-	2,700
繰延税金負債	501	492
退職給付に係る負債	584	596
役員退職慰労引当金	140	141
資産除去債務	210	215
その他	198	148
固定負債合計	1,634	4,294
負債合計	9,399	8,984

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	271	271
資本剰余金	5,275	5,274
利益剰余金	6,808	7,313
自己株式	△392	△392
株主資本合計	11,962	12,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	9
為替換算調整勘定	57	356
退職給付に係る調整累計額	△4	△3
その他の包括利益累計額合計	59	362
非支配株主持分	209	183
純資産合計	12,231	13,011
負債純資産合計	21,630	21,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
営業収益		
輸送事業収入	21,581	26,971
営業収益合計	21,581	26,971
営業原価		
輸送事業仕入	17,726	22,469
営業原価合計	17,726	22,469
売上総利益	3,854	4,501
販売費及び一般管理費	2,970	2,967
営業利益	883	1,533
営業外収益		
受取利息	20	14
受取配当金	3	1
持分法による投資利益	73	89
為替差益	43	20
その他	30	21
営業外収益合計	170	146
営業外費用		
支払利息	2	6
その他	0	0
営業外費用合計	2	7
経常利益	1,051	1,673
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	2	0
会員権評価損	5	-
関係会社清算損	-	0
事業構造改革費用	-	73
特別損失合計	8	73
税金等調整前四半期純利益	1,042	1,599
法人税、住民税及び事業税	357	585
法人税等調整額	△50	29
法人税等合計	307	614
四半期純利益	734	984
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	716	974

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	734	984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	2
為替換算調整勘定	△77	254
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	40
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△98	298
四半期包括利益	636	1,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	619	1,276
非支配株主に係る四半期包括利益	16	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,042	1,599
減価償却費	251	293
のれん償却額	54	54
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	35
賞与引当金の増減額(△は減少)	45	△8
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15	△20
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8	12
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5	0
受取利息及び受取配当金	△23	△15
支払利息	2	6
為替差損益(△は益)	1	△1
持分法による投資損益(△は益)	△73	△89
有形固定資産売却損益(△は益)	0	-
有形固定資産除却損	2	0
会員権評価損	5	-
預り金の増減額(△は減少)	△23	△79
売上債権の増減額(△は増加)	△761	△313
立替金の増減額(△は増加)	△353	△277
仕入債務の増減額(△は減少)	490	740
その他	△52	42
小計	602	1,979
利息及び配当金の受取額	166	127
利息の支払額	△2	△6
法人税等の支払額	△335	△600
営業活動によるキャッシュ・フロー	431	1,500
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△523	△833
定期預金の払戻による収入	316	1,176
有形固定資産の取得による支出	△29	△10
有形固定資産の売却による収入	0	-
無形固定資産の取得による支出	△6	△4
投資有価証券の売却による収入	-	2
差入保証金の差入による支出	△5	△3
差入保証金の回収による収入	2	11
その他	76	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△169	340

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	76	-
短期借入金の返済による支出	△4,399	-
長期借入れによる収入	3,700	2,700
長期借入金の返済による支出	-	△3,700
自己株式の取得による支出	△127	△0
リース債務の返済による支出	△15	△85
配当金の支払額	△427	△469
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,192	△1,568
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55	175
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△986	447
現金及び現金同等物の期首残高	10,812	10,052
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,826	10,499

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、連結子会社であった「AIT International of America, Inc.」は清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りに関して)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	計				
営業収益							
(1) 外部顧客に対する 営業収益	17,216	3,670	20,887	693	21,581	—	21,581
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	78	1,794	1,872	220	2,092	△2,092	—
計	17,295	5,465	22,760	913	23,674	△2,092	21,581
セグメント利益	600	251	852	31	883	—	883

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人です。なお、米国の現地法人である「AIT International of America, Inc.」は2020年2月29日をもって営業を終了し、現在清算手続中であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	計				
営業収益							
(1) 外部顧客に対する 営業収益	22,435	4,061	26,496	474	26,971	—	26,971
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	68	1,981	2,050	192	2,242	△2,242	—
計	22,504	6,043	28,547	666	29,214	△2,242	26,971
セグメント利益	1,310	212	1,523	10	1,533	—	1,533

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人です。なお、米国の現地法人である「AIT International of America, Inc.」は、第1四半期連結会計期間において、清算結了したため、連結の範囲から除外しております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。